

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2002-510729 (P2002-510729A)

【公表日】平成 14 年 4 月 9 日 (2002.4.9)

【出願番号】特願 2000-542385 (P2000-542385)

【国際特許分類】

C 0 8 J **5/18** **(2006.01)**

B 3 2 B **27/32** **(2006.01)**

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 25/04 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/18

B 3 2 B 27/32 Z

C 0 8 L 23:08

C 0 8 L 25:04

C 0 8 L 67:00

C 0 8 L 77:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 0.92 g/cm³未満の密度を有するポリオレフィンエラストマーを含む連続弾性相、および
フィルムが異方性弾性を示すように前記連続相内で配向する不連続相を含む異方性フィルム。

【請求項 2】 前記ポリオレフィンエラストマーが、ポリエチレンおよび 1 つ以上のコモノマーから成るモノマー単位から誘導されるポリマーを含む請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 3】 前記ポリオレフィンエラストマーが、2.5 % 未満の永久歪みを有する請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 4】 前記不連続相が、前記連続相内に繊維状レジームを含む請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 5】 前記繊維状レジームが、実質的に平行な方向に配向する請求項 4 に記載のフィルム。

【請求項 6】 前記不連続繊維が、ポリスチレン、ポリアミド、ポリエステル、およびそれらの混合物から成る群より選択される材料から構成される請求項 5 に記載のフィルム。

【請求項 7】 前記フィルムが 100 重量部のフィルムを基準にして、20 ~ 30 重量部の不連続相を含む請求項 6 に記載のフィルム。

【請求項 8】 前記フィルムが縦方向に、5 ~ 15 % の伸びの範囲の降伏点および少なくとも 6 ニュートンの F10 力を有する請求項 1 に記載のフィルム。